



- ・全国共通の「#8000」小児救急電話相談事業を、専門業者に委託する方法で、夜間・休日（休日は24時間体制）に実施する。

### （3）県負担・補助率の考え方

- ・県単独事業
  - ※平成25年度まで、国補助事業。
  - ※「地域医療介護総合確保基金」を活用。

### （4）類似事業の有無

- ・類似事業なし

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	16,762	小児救急電話相談委託料
役務費	1,478	#8000利用料、通話料
合計	18,240	

## 決定額の考え方

## 4 参考事項

### （1）各種計画での位置づけ

- ・岐阜県保健医療計画（第7期）
  - 第3部－第2章－第10節小児医療対策－7今後の施策
  - 『救急車の適正利用を推進し、小児救急搬送に占める軽症者の割合を低減させるため、小児救急電話相談（#8000）事業を継続して実施するとともに、地域住民に対する#8000の普及啓発に取り組みます。』

### （2）国・他県の状況

- ・小児救急電話相談事業は、全ての都道府県で実施されている。

### （3）後年度の財政負担

- ・小児救急医療体制の安定的な運営の為、継続していく必要がある。

### （4）事業主体及びその妥当性

- ・保健医療計画上も小児救急電話相談事業の継続明記していることから、事業主体が県であることは妥当である。

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

厚生労働省の主導で小児の保護者等を対象とした小児救急電話相談事業が開始され、岐阜県も平成17年8月から実施している。今後も現相談体制を維持し、小児救急患者の医療機関の適正受診を推進してゆく。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業 開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
小児救急電話相談件数	1,009 (H17)	19,034 (H29)	18,805 (H30)	15,464 (R1)	- (H )	%
	(H )	(H )	(H )	(H )	(H )	%

### ○指標を設定することができない場合の理由

小児の急病に対しての相談であり、その発生率や緊急性は予測できないため、相談件数の増や助言内容についての指標は設定できない。

### （前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

県及び関係団体ホームページでの事業周知

県のホームページ（医療－救急医療対策）において事業内容を周知。

県国際交流センターのホームページ（外国人のみなさんへ）において、4カ国語（英語、中国語、ポルトガル語、タガログ語）での事業周知。※平成24年10月～

### （前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

小児救急医療体制の安定的な運営に寄与している。

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い      △：必要性が低い</li> </ul>	
(評価)	小児科医療に対する適正受診を推進につながるため、事業の必要性が高い。 ○
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価)	令和元年度の相談件数のうち、救急車要請を進めた案件は 134 件（0.9%）、緊急受診が必要と助言した案件は 3,750 件（24.2%）であった。これ以外の案件については翌日以降の受診又は助言のみにとどまっており、小児救急患者の適正受診が図られている。 ○
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている      △：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価)	平成 22 年度から民間事業者への委託とし、電話相談時間を拡大し、24 時間体制とした。この結果、相談件数が対前年比 176% となった。 令和元年度には、95% 以上の相談を概ね 10 分以内に終了し、迅速な助言に努めている。 ○

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 相談件数の増加に備え、対応できる体制の確保を図っていく必要がある。</li> </ul>
---

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 不要不急の病院受診抑制、保護者の不安解消と適切な受診行動を促すために必要な事業であるため、今後も継続する。</li> </ul>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	